

「仲間のために本気になること」

2 6 0 6 2 9

昨日の卓球部の団体戦から、夏の大会（総合体育大会）がスタートしています。生徒たちが2年半、仲間と共に取り組んできた部活動の締めくくりを迎え、粘り強く戦う姿を見せてくれましたが、代表決定戦への出場は叶いませんでした。

私は観戦していて、子どもたちの本気のプレーに心を打たれました。点を取り合い、逆転につぐ逆転、マッチポイントを取られてから追いついてのセットの奪取。相手の強烈なスマッシュの返球、長く長く延々と続くラリーの応酬。一瞬たりとも気の抜けないゲームばかりで、ハラハラドキドキしながらの観戦でした。

そして、さらにもっと心を打たれたのは、その選手たちを全力で応援しているある生徒の姿でした。その子は、ユニフォームは着ていましたが、一試合も試合には出ることはありませんでした。しかし、顧問に聞くと、その子はチームには欠かせない大切な存在で、登録選手からは外せない子だと言っていました。誰よりも大きな声で応援し、誰よりも腕を突き上げて1ポイントを喜び、チーム全体を鼓舞していました。その姿を見つめながら、こんなにもチームの仲間への熱い思いをもって応援する子どもが育っていることをとてもうれしく感じていました。

仲間のために本気で応援すること、真剣になること。そんな経験ができるのも、中学校部活動の価値であると改めて思いました。幸中生の夏が、自分を、仲間を輝かせるものになることを強く願っています。